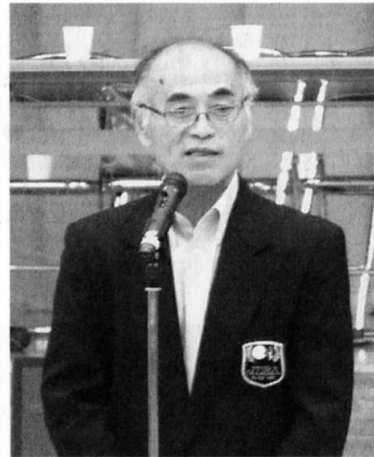


# 小中学生、ひたむきに熱戦

## 三条中央LC、初のドッジボール大会

土田会長



小林会長



三条中央ライオンズクラブ、新潟県ドッジボール協会主催のドッジボール大会が二十日、三条市下田体育館で開かれ、小学生の部でM.U.D.C、中学生の部でレアルオーティエンスNEOが優勝した。

ドッジボールを通じて子どもたちの健やかな成長交流を促そうと開催したもので、同クラブとしては初の試み。同クラブ会員で日本ドッジボール協会普及委員会副委員長、新潟県ドッジボール協会競技委員長の西潟美知子さんがかけはしとなって実現した。西潟さ

んは、「ライオンズクラブにこのような形で(ドッジボール大会を)主催してもらえると、協会として本当にありがたい」と話した。大会はリーグ戦で順位を決めた後、全チーム参加の決勝トーナメントを行う方式で、小学生の部に五チーム、中学生の部に七チームが参加。小学生の部には県内各地のクラブチームが顔をそろえ、中学生の部には経験者・初心者が入り混じった。試合はドッジボール、あるいはビーチドッジボールの公式ルールにのっとり行われ、ドッジボ



ル協会の関係者が審判員を務める本格的な大会となった。

この日午前八時四十分ころから行われた開会式では、県ドッジボール協会の土田寿一会長が「きようは熱く燃え上がってください。楽しみにしています」と、選手たちを激励。三条中央ライオンズクラブの小林時男会長は、「きよう

はクラブのメンバーで皆さんのプレーを見させていただき、次回以降の展開についても勉強する機会にした。きよう一日、ケガのないよう、日ごの練習の成果を出し、友だちと交流を図り、頑張っていたらよかった。西潟さんによるルール、注意点の説明



に続き、M.U.D.Cキャプテンの笠原陽呂選手が選手宣誓。「最後まであきらめず、正々堂々と戦い抜くことを誓います」とはつきりとした口調で述べ、熱戦の火ぶたが切られた。ひたむきにプレーする子どもたちと、アドバイスを送るコーチ陣、横断幕を掲げて大声援で後押しする保護者らによって、会場はあつという間に熱気に包まれた。同クラブの会員らは、目の前で展開されるスピードと力強さにあふれたボール回し、アタックの応酬に、目を丸くしていた。(山口)